



## 第6回「原発ゼロへのカウントダウンinかわさき」集会 報告 ～東電・国の責任を求めて～

原発ゼロへのカウントダウンinかわさき実行委員会・共同代表 川口 洋一（当法人・理事）



平和公園を出発し武蔵小杉駅まで約1時間  
原発ゼロへのデモ行進。先頭は左から小出  
裕章さん、松本徳子さん、川口洋一さん。

3月12日（日）8：00、中原平和公園に着いてみると、既にテント・机・椅子を積んだ十台近くのトラックが到着しており、土建や建設などの組合員の皆さんや各ブースの代表が設営の作業に取り掛かっていました。

10：30 開場。ブース広場の一角に設けられたサブステージでにぎやかな太鼓の音が響きます。天気は晴れ、例年のように10時頃から吹き始める春の強風も今年はなく、暖かく穏やかな日となりました。出展は31団体。人の出足も順調で、

「原発ゼロ市民共同かわさき発電所」などの自分たちの活動を紹介する展示ブース、食べ物を売る処、飲み物を提供する処、どこも賑わっていました。中でも通路にあふれるほど人を集めていたのが「希望のつばさプロジェクト」でした。その秘密は

メインゲストの一人、小出裕章さんを囲んでミニ学習会が行われていたのです。

13：00 開会。避難の協同センター共同代表の松本徳子さんは、鼻血をだし、下痢などの体調不良を訴える当時12歳の娘さんの被曝を避けるため川崎へ避難してきました。被曝の安全基準を事故前の20倍、年間20ミリシーベルトまで引き上げての避難解除です。「そんな福島に帰れと言われても帰れない、私たちには避難の権利があるのです。事故を起こした東京電力は国に守られて、なんら罰せられることはありません」と、その理不尽さを訴えていました。



メインステージにて、原発ゼロに向けてアピールをする当法人の児玉さん。



ブース広場で「パネル展示」と福島のお酒の「熱燗」を出店し、大好評。

同じように、元京都大学原子炉実験所助教の小出裕章さんも、事故を起こした東京電力や原発推進政策を強力に推進してきた国が、何ら責任を取ることなく原発の再稼働を進めていることは許せないと述べていました。一緒に来た歌手のさいたまんそうさんも大きな声で歌い、最後に「原発アウト～」と野



球審判のジャッジを宣告しました。今年の集会の参加者は、昨年を上回る1,500人でした。

14:20 原発ゼロへの行進。シュプレヒコールをあげながら武蔵小杉駅までデモ行進しました。

東電と政府の原発事故に対する賠償責任を問う訴訟は、約30件が避難先の各地で争われています。その判決の一つが、集会後の3月17日に前橋地裁でありました。原美智子裁判長は、津波を予見して事故を防ぐことはできたと判断、国と東電に総額約3855万円の支払いを命じました。国の責任を認める画期的な判決ですが、請求した賠償金額15億円に対して、3855万円はあまりにも少額にすぎると思います。

神奈川県に避難してきた原発被害者が、東電と国の責任を問うている裁判「福島原発かながわ訴訟」の公判が4月25日（火）午前10時30分から行われます。東電と国に責任を取らせる判決を引き出すために、裁判の傍聴に行きましょう。



原発再稼働反対！子どもを放射能から守ろう！と訴えながら大規模なデモ行進をした。



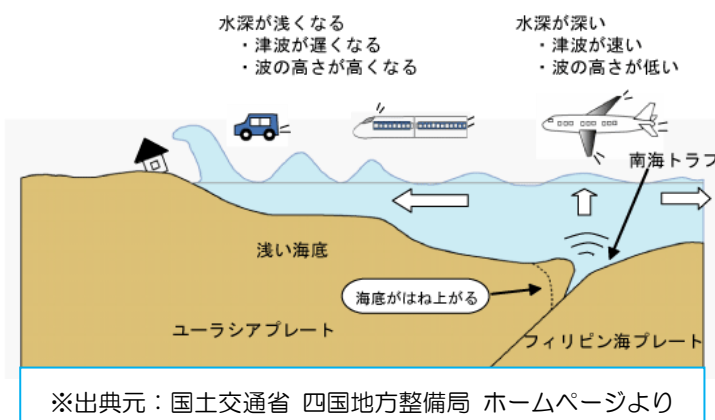
## ■学習会「ザ・浜岡原発事故」開催報告

3月24日（金）、浜岡原発学習会を開催しました。副理事長の田中哲男氏から「浜岡原子力発電所の危険性」、理事の岩坂康祐氏から「浜岡原発事故が起きたら、神奈川県はどうなる」の報告、静岡新聞の坂本昌信記者による現地の報告もありました。

まず田中副理事長からは、防波壁を22mに嵩（かさ）上げしたが、沖合にある取水口のパイプが壊れたら「海水冷却機能」を喪失し、メルトダウンに至る。新野川から水を汲むというが、津波であふれてポンプが使えない、ポンプの容量も足りない、など対策の不十分さが分かりやすく説明されました。津波の速さはどれくらい？で調べてみたら、「津波」は海の水深が深いほど速くなります。

例えば、南海トラフのような水深の深いところでは、津波はジェット機なみの速さで進みます。水深が浅くなると速度は遅くなりますが、津波の高さが高くなります。M9.6の地震による津波高は42mとも予測され、浜岡原発の危険性を推し量ることができます。

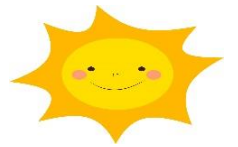
岩坂理事からは、浜岡2号炉がメルトダウンを起こしたと想定して、南西の風、風速5mで6時間後横浜に到達、8時間後、川崎は100～1000ミリシーベルト/毎時の放射性物質が飛散するという恐ろしい予測が報告されました。私たち神奈川県民（900万人）は北東へ避難するため多摩川、荒川を渡れるのか？などのシミュレーションもありました。また、裁判の話が出ましたが、へたな裁判をやって迷惑をかけてはいけない、全国の運動の到達点を見極め、取り組みたいという発言もありました。参加者は多くありませんでしたが、原発事故は全国どこでも起こりうることを学び、福島事故による被害は神奈川県でも起こりうることを認識し、原発をなくさない限りは解決しないことを気づかされた学習会でした。



理事 町井 弘明



## ■「おひさま春まつり」開催のお知らせ



東日本大震災のあと、「エコ・自然エネルギーにふれよう」というテーマで始まった「おひさま春まつり」は今年で5回目を迎えます。自然エネルギーコーナー、ミニステージ、子どもコーナー、屋台など親子そろって楽しめます。

ミツバチの会・代表 玉田 恵美子（当法人・理事）

### 第5回「おひさま春まつり」

日時：5月14日（日）11：00～15：00

会場：多摩区 中野島・中央公園

主催：おひさま春まつり実行委員会

後援：川崎市、川崎市教育委員会

連絡先 080-5515-9716（玉田）



どちらも、NPO 法人  
原発ゼロ市民共同  
かわさき発電所  
が出展します！

\*\*\*\*\*

## ■「平和をきずく市民のつどい」開催のお知らせ

「平和をきずく市民のつどい」は、毎年宣言記念日（6月8日）の前後の日曜日に平和館とその周辺を使って開かれています。今年は、35周年記念の「つどい」で、6月4日（日）です。

舞台では、学童保育の子供たちのパフォーマンスが大人に大好評！詩の朗読も準備され、各団体のアピールタイムもあります。メイン講演は、国際ジャーナリストの伊藤千尋さんのお話があります。集団的自衛権のもとでの戦争と平和はどうなるのか、それに「秘密保護法」や「共謀罪」まで加わったら日本は、私たちの自由はどうなるのか、を知ることができます。

広島・長崎原爆パネルや中原の戦争の実態を伝えるパネル、子供たちの平和の絵などが展示され、館外では模擬店に美味しい食べ物があり、バザーも出ます。



平和をきずく市民のつどい実行委員会・事務局 田辺 勝義（当法人・理事）

日時：6月4日（日）10：00～15：30

会場：中原区 川崎市平和館（平和公園内） 入場無料

主催：川崎市核兵器廃絶平和都市宣言 35周年記念「平和をきずく市民のつどい」実行委員会

後援：川崎市教育委員会 川崎市、朝日新聞社川崎支局、神奈川新聞、東京新聞、毎日新聞 申請中

連絡先：044-766-0550（田辺）



この度、3号機建設候補地となりました「うしおだ診療所」です。私たちの診療所は横浜市鶴見区の海側に位置しており、2012年5月に現在の場所に移転してきました。正式には「うしおだ診療所〜こころとからだと歯〜」となっていて、身体・心・歯を診る事が出来る大型の診療所です。デイケアも介護・認知症・精神科の3つを併設し幅広く医療介護活動をおこなっています。昔は京浜工業地帯と言われた地域で海と川が近くにあり風向きによっては潮の香りがします。生麦の魚河岸通りも近くにあり、古い漁師町のような雰囲気や漂わせつつも、反対側には大きな工場が立ち並び、違った顔を見せてくれる街です。

「うしおだ診療所」は旧汐田総合病院の跡地（鶴見区下野谷）で医療活動をしてきました。

老朽化が進み古くて暗い診療所で、あの2011年3月に起こった東日本大震災では倒壊するのではないかと思うほど激しい揺れを経験しました。実際倒壊はしなかったもののひび割れや増改築した建物の境目が歪むなど被害はありました。

横浜市認知症初期集中支援事業を委託され、認知症にも力を入れています。うしおだ診療所は公益財団法人・横浜勤労者福祉協会の診療所で、矢向にある汐田総合病院や梶山にある梶山診療所と同一法人です。私たちの法人は【無料低額診療事業所として、医療福祉介護にわたる総合サービスを提供し、共同組織とともに地域の患者・利用者の生活を支える】をビジョンとして日々活動している法人です。地域の生活を支える、命と健康を守る立場から脱原発の活動もしています。パレードや署名活動はもちろんですが、福島原発事故以降は原発を少しでも使用しない取り組みを考え、各事業所では節電に力を入れて使用量を減らす努力をしてきました。汐田総合病院は電力会社を東電から他社へ変更するなど小さい事ではありますがアクションを起こしています。

そんな中で今回のお話を頂き、原発ゼロに少しでもお役に立てばと喜んでおります。うしおだ診療所の屋上は平面で広々としており、太陽光パネルを設置するには良い条件と思います。原発ゼロへの取り組みがさらに発展していく事を期待しております。



3号機建設予定「うしおだ診療所」

### ■NPO 法人 原発ゼロ市民共同かわさき発電所■

ホームページ

<http://genpatuzero-hatuden.jimdo.com/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/genpatuzero.hatuden>

連絡先 TEL 090—7948—6189（川岸）

### 【編集後記】

今年は例年よりも桜が長く咲いていて、楽しませてもらいました。先月号でもお伝えしたように、念願の3号機候補地が決まり、とても嬉しい。とともに、横浜勤労者福祉協会様のような大きな母体と原発ゼロへの運動を進めていくことに身の引き締まる思いです。まずは、7月11日「原発と再生」上映会の共催に向けて動き出します。（加藤伸子）

でん太通信は毎月15日に発行しています。

